

文芸コーナー

短歌

冬温く夏は冷たく賑みやくと

村人はぐくむ里の湧水

中の子の早や五十の誕生日

食事すませてさあカラオケへ

巢立ちたるツバメの宿は何処かな

外敵来ぬかようじんようじん

恒例の茅の輪くぐり一年の

息災いのる氏子賑わう

少しづつ一人の部屋に変わりゆく

二人の写真そのままにして

まかがやく命を知れよ沈黙の

心鳴らして満つるあぢさゐ

かなしき原俳句会

野路行けば風にたはむる花芒

大空を飛びたし窓の鬼やんま

被災地を避けてゆきたる野分かな

虫の声一日の疲れ薄れゆく

大木を倒して行きし野分かな

池田たかお

坂本 竹子

阪野 章子

村上 成章

石山 幸子

東 左千子

克代

謙三

貞子

しん子

淑乃

名の如く咲きつぐ花や日日草

今日からは私の事のみ冷奴

流星や異国の友は今如何に

きよみ

康子

弘子

菊水俳句会

虫の声包む夜明けの庭仕事

庭ひとつさりと巡り鬼やんま

降りそうで降らぬ毎日葉鶏頭

飛行機雲伸びゆく先の夕焼けて

地に落ちて蟬の亡骸天呪む

見舞いきて指をからめるもみじの手

法師蟬鳴くよき風の吹く夕べ

宮中 ミスエ

宮中 康雄

坂口 公子

永田 紘彦

池田 松子

原 かよこ

中山 ミサト

肥後狂句会

左うちわ宝くじでも当たらんと

左うちわ分限者どんにむぞがられ

左うちわ知らぬ間に金貯めとらす

左うちわ同居のおかげありがたい

我慢我慢十年先は楽なもん

我慢我慢爛まい前に茶とはねエ

父ちゃんの後は不自由せんいわす

父ちゃんのおんなはらんと飯食えん

父ちゃんの着流し姿武者のえエ

石原かわせみ

高木せいや

井上りんどう

後藤 撫子

池田 茜

庄山 道草

福永すみれ

二瀬 桔梗

瀬上 歌子

大山こすもす

人権の窓 5

「あるがままに生きたい」

五年前の十月、第四〇回熊本県人権教育研究大会が県内各地よりおよそ二千七百名の参加で開催されました。一日目の全体会で被差別部落出身の測上さんの特別報告がありました。

「十一年前、この大会に参加しましたが、被差別部落出身だということがばれないように、知り合いのおばちゃんたちから顔を隠したり、故郷で開催された分科会場には参加することができませんでした。

子どもの頃の運動会のリレーで、身を乗り出して「がんばれー」と応援してくれた大好きだったおばちゃんたちとも、部落問題の事だけは話せませんでした。結婚差別を受けたとき、父に相談しても「しょんない。在の人だけん」としか返してくれず、そんな親を恨むことしかできませんでした。

親を恨むことは私の差別心だったと今は思い返しができるようになりました。また、竹の皮ぞうりの作り方をむらのおばちゃんたちから教えてもらったとき、貧しい暮らしを恥ずかしいと思いつまされてきたおばちゃんたちに、「恥ずかしいはないよ。暮らしを支えてきたたたかな生き方ですよ」と伝えることができました。

故郷を言えなかった私を変えてくれたのは、福岡の人権バンドの宮崎さんとの出会いでした。差別をなくすため、たくさんの方の前で堂々と自分のことを語っていく宮崎さんに、

「私とあなたとの違いは何ですか？」と尋ねると、「何も違いませんよ。一つ違うとしたら、いろんな立場の人との出会いですよ。出会いを求めなっせ」と答えてくれました。以来、いろんな痛みを持つている人との出会いを求めて行動してきました。

これまでの同窓会では被差別部落のことは全く話せませんでしたが、自分で自分を確かめるために、正直に話すことにしました。友だちはしっかりと私の思いを受け止めてくれました。五十年間の臆病な生き方から、ここ十年で正直な自分で生きようと歩いてきました。その間、ずっと背中に何かが突き刺さっているような思いでした。

心を解放し、自分らしく生きたいと思えます。誰のためでもなく、自分が自分であるために。自分をふり返りながら、正直に、あるがままに生きていきたいのです。」

参加者からの大きな拍手が会場を包みみました。そして、今年の七月、南関中で開催された二町ブロック人権・同和教育研究会での記念講演は「人権バンド ホライズン」の皆さんでしたが、そのメンバーの中心に、測上さんがおられて、「よき日、明日に向かって、足を踏みしめこぶしを握ろう」と元気に歌いあげられる姿に、目頭が熱くなりました。

和水町人権教育指導員

緒方正雄

図書室 本紹介

三和公民館 だより

『日帰り登山のスズメ あした、山へ行こう！』

鈴木みき著／俳諧社文庫



山登り？つらそうだし、面倒くさいし、怖いし…そんなあなたに登山系イラストレーターが贈る、日帰り登山指南漫画。山用具選びから、おススメコースの数々、そして山を100%楽しめる登り方まで、懇切丁寧に指導します。さあ、あなたもあした山へ行きませんか？

『山女日記』



湊かなえ著／俳諧社文庫

私の選択は間違っていたのですか？真面目に、正直に、懸命に生きてきたのに…誰にも言えない苦い思いを抱いて、女たちは一歩一歩頂上を目指す。新しい景色が、小さな答えをくれる。ミステリーではない、湊かなえさんの作品、オススメです。

『山ごはん12か月 ばんさんの山めし』

（株）ネコ・パブリッシング



山ごはんって大事なのは、簡単で手早くできること！この本では、身近な食材・加工食品を使って、手軽にできる75のレシピを紹介しています。山で食べれば最高ですが、山に行けなくてもわが家で、山気分が味わえます。

新婚さん いらっしゃ〜い

- Q. 入籍日は？
A. 平成28年8月7日
- Q. 知り合ったきっかけは？
A. 友人の紹介
- Q. お互い何と呼び合っていますか？
A. 夫：♥えみちゃん♥
妻：♥ゆうきくん♥
- Q. 生活していくなかで心がけていることは？
A. 2人で協力し合い、いつも笑顔があふれる楽しい家庭をつくること
- Q. 奥様から一言！
A. 家のことも手伝ってくれてありがとう！これからも、何でも話し合い、お互い思いやりの気持ちを大切にしていこうね。そして世界一幸せな家庭をつくろうね♥

※多くの新婚ご夫婦の「新婚さん定住奨励金」の申請をお待ちしています。詳しくはお問い合わせください。